

階級の幅 h は、直接的に与えられるか、下で示される階級の個数 k から次式で与えられる。

$$h = \left\lceil \frac{\max x - \min x}{k} \right\rceil.$$

上式の大括弧は天井関数を示す。

平方根選択 (英: Square-root choice)

$$k = \sqrt{n},$$

標本中のデータ数の平方根をとるものである^[8]。

ステージスの公式 (英: Sturges' formula) ^[9]

$$k = \lceil \log_2 n + 1 \rceil,$$

この式は階級の大きさに暗黙の仮定を置いている。そのため、 $n < 30$ (階級数が7未満)の場合、この式の使用は不適切である。また、標本が一般的な分布と大きく異なる場合も、この式が適さないことがある。

スコットの選択 (英: Scott's choice) ^[10]

$$h = \frac{3.5 \sigma}{n^{1/3}},$$

ここで σ は標本の標準偏差である。

フリードマン・ダイアコニスを選択 (英: Freedman–Diaconis' choice) ^[11]

$$h = 2 \frac{\text{IQR}(x)}{n^{1/3}},$$